

精神看護学実習

目 的

精神障害をもつ対象の特性を理解し、生活者としての自立に向けて看護を実践できる能力と、対象を一人の人間として尊重する態度を養う。

目 標

1. 精神障害をもつ対象の生活歴やストレンクスを把握し、身体・精神・社会的側面から総合的に理解できる。
2. 対象のセルフケア能力を判断し、地域での生活を見据えた日常生活援助が実践できる。
3. 患者－看護者間の相互作用の中で自己の傾向に気づき、対象の人格を尊重して治療的な対人関係を構築できる。
4. 精神障害をもつ対象の人権保護の重要性を理解できる。
5. 精神保健医療福祉サービスの役割や援助の実際・連携を学ぶことができる。
6. 精神障害をもつ対象が、地域で生活していくために必要な支援と課題について理解できる。

内 容

<病棟>

1. 精神障害をもつ対象の理解
 - 1) 発病に至った経緯について、発症の時期や症状・治療経過にとどめず、生育歴や生活歴、家族背景、社会性、生活環境など広く情報を得て、精神に影響を及ぼす要因について考える
 - 2) 対象の治療目的・方法・内容を理解する
 - 3) 対象に現れている精神症状（意識・知覚・記憶・思考・知能・感情・意欲と行動・自己概念の異常）と状態像を解釈する

- 4) 健康な精神活動を把握する
 - 5) 対象の反応の意味を、精神状態・心理過程・生活背景などに関連させて考える
2. 日常生活援助の実践
 - 1) コミュニケーション技術を応用し、対象との対人関係を構築する
 - 2) 対象のセルフケア能力をアセスメントする
 - 3) 患者や家族の希望・治療方針等を踏まえた目標を設定する
 - 4) セルフケアレベルに応じた看護計画を立案する
 - 5) 対象の状態を考慮し、セルフケアへの援助を行う
 - 6) 実施した援助を評価し、具体策を修正する
 3. 精神科看護の特徴の理解
 - 1) 離院・自傷・他害・自殺などを防ぐための配慮、人権への配慮を理解する
 - 2) 療養の場・生活の場としての環境と看護師の役割について理解する
 - 3) 精神科リハビリテーションについて、治療的効果と援助の在り方を考える
 4. 自己理解
 - 1) プロセスレコードや日々の記録を通して対人関係における場面を振り返り、自己の感情や行動の傾向に気づく
 - 2) 対人関係における自己課題について明確化する

<デイケア>

1. 施設の役割と機能の理解
 - 1) 施設の設置目的、運営、構成人員、援助内容
 - 2) 精神科リハビリテーションの実際
 - 3) 医療・福祉の連携

<就労継続支援 B 型事業所>

1. 施設の役割と機能の理解
 - 1) 支援の実際
 - 2) 医療・福祉の連携
2. 就労継続支援を利用している精神障害をもつ対象の理解
 - 1) 作業内容と取り組み状況
 - 2) 日常生活の様子と支援の状況
 - 3) 障害の程度に応じた通所の目的と支援の必要性について考える

<地域生活支援センター>

1. 施設の役割と機能の理解
 - 1) 施設の設置目的、運営、構成人員、援助内容
2. 地域で生活する精神障害をもつ対象を支える福祉サービスの理解
 - 1) 日中活動や住まいの場に関する支援
 - 2) セルフケアへの支援
 - 3) 相談支援
 - 4) 権利擁護
3. 地域で生活する精神障害をもつ対象の理解
 - 1) 日常生活の様子と支援の状況
 - 2) 生活への希望の理解
 - 3) 地域で生活するために必要な支援について考える

方 法

<学内実習>

ねらい：実習の目的・目標・内容・方法を再確認すると共に、精神看護学実習の展開をイメージ化することで、実習の準備性を高める。

1. 実習開始前に、実習グループごと行う。
2. 内容
 - 1) 『目で見える精神看護－VOL.2 精神看護実習』のビデオ学習
 - 2) 実習前オリエンテーション
 - ①病棟実習のスケジュールと留意点
 - ②学生レクリエーションに関する事項

<病棟>

1. 精神神経科病棟にて実習する。
2. 病院・病棟オリエンテーションを受ける。
3. 以下の条件を可能な範囲で考慮し選定された患者1名を受け持つ。
 - 1) 開放病棟または閉鎖病棟に入院中で2週間受け持つことが可能であること
 - 2) 精神症状が比較的とらえやすく、日常生活への影響が見えやすいこと
 - 3) 患者の示す行動の意味をとらえやすいこと
4. 看護計画に基づいて看護を実践する。
5. テーマカンファレンスを開催する。
6. 院内外で行われる各種レクリエーションや行事に参加する。
7. 学生主体でレクリエーションを企画・開催する。
8. 病棟実習終了後は「精神科看護を経験して学んだことと自己課題」というテーマで実習目標1～3について、目標毎に学びと今後の課題を考察し、共通レポート用紙に記載する。

<デイケア>

1. 施設オリエンテーションを受ける。
2. 施設内の日課・役割分担に沿って、利用者とともに行動する。

<就労継続支援 B 型事業所>

1. 施設内の日課・役割分担に沿って、利用者とともに作業を行う。
2. ミーティング・交流会に参加する。
3. 最終日にカンファレンスを開催する。

<地域生活支援センター>

1. 地域生活支援センターの概要について説明を受ける。
2. 利用者と共に活動に参加する。
3. グループホーム、就労支援事業所などを見学する。
4. 訪問に同行し、日常生活状況や支援の状況について把握する。

<デイケア・就労継続支援 B 型事業所・地域生活支援センター実習終了後>

1. 「地域で生活する精神障害者に必要な支援と課題」について考察し、共通レポート用紙に記載する。

